

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-200

研究課題名 Ki67 陽性細胞計測による乳癌の予後に関する病理学組織的検討

研究期間 西暦 2014年 7月（倫理委員会承認後）～ 2019年 6月

対象材料

病理材料（対象臓器名 乳腺手術検体 ）

生検材料（対象臓器名 ）

血液材料  遊離細胞  その他（ ）

上記材料の採取期間 西暦 1998年 1月～ 2014年 5月の期間で乳癌と診断され、もしくは乳癌が疑われ東北大学病院にて乳腺切除術を受けた症例

意義、目的

乳癌の病理診断においては、免疫組織化学的なバイオマーカーとして癌細胞の細胞周期の指標となる Ki67 陽性率が予後予測に重要であるとの報告がされている。しかし、その陽性率の計測は病理医間で差が生じることが知られており、計測方法に関する精度管理が十分になされているとは言い難い。本研究では、乳癌組織検体において Ki67 陽性率の計測方法を複数検討し、予後との相関に関してより信頼性のある方法を明らかにすることを目的とする。計測方法は、複数の病理医によるマニュアル的な計測法と、コンピューター上で陽性細胞率を自動的に解析するソフトウェアを用いる計測法の両方で行う予定である。

方法

1. すでにパラフィンブロックを作成された乳癌組織（乳癌と診断され、もしくは乳癌が疑われ東北大学病院で乳腺切除術を受けた症例）を用いて、Ki67 陽性細胞率を免疫染色で検索する。それらの陽性細胞率は、複数の病理医によるマニュアル的な計測法と、コンピューター上でアペリオ社の解析ソフトである HALO を用いて自動的に解析する方法の両者を用いて実施する。
2. 上記方法で算出された Ki67 陽性細胞数/率と臨床病理学的因子等との相関を検討する。
3. 遺伝子検索は行わない。

問い合わせ・苦情等の窓口

中村保宏 東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野

980-8575 仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL: 022-717-8050